

～行田の歴史と文化を感じるまち並みづくり～ 行田市ふるさとづくり事業をご活用ください

市では、足袋蔵などの歴史的資産を活用した景観整備を推進するとともに、地域の皆さんと一体となって街なかのにぎわい創出と地域活性化を図るため、「行田市ふるさとづくり事業」を実施しています。歴史的建築物が集積する行田地区およびその周辺の地区で、建築物や建物の改修などを予定されている方は、本制度の活用をご検討ください。

「ふるさとづくり事業」

次の3つの事業の総称で、行田ならではの街並み景観に配慮した外観の改修や歴史的建築物の改修などを行う市内の活動団体や個人・事業者に対して、整備費用の一部を補助するものです。

事業名	事業内容	対象	補助率	限度額
足袋蔵等歴史的建築物改修・活用事業	歴史的建築物を改修し、その建物を活用して10年以上にわたり公益性の高いソフト事業を実施する事業に補助します。	市内に活動の拠点を有する①NPO法人②市民活動団体③ボランティア団体④商業や農業などの関連団体	10分の10以内	2,000万円
行田らしいまち並みづくり事業	城下町や足袋のまちとしてにぎわった行田をイメージさせる外観に建物を改修したり、塀や看板などを設置・改修したりする事業に補助します。	建築物を所有する個人・事業者または団体	2分の1以内	50万円
おもてなし・にぎわい創出事業	観光拠点への案内標示板の整備や、空き店舗を活用して休憩・授乳できる施設整備事業に補助します。	建築物を所有する個人・事業者または団体	2分の1以内	40万円

「行田らしいまち並みづくり事業」の対象となる事例



歴史的建築物の改修



外壁の改修



塀の改修

▶補助対象要件

- ・行田地区およびその周辺の地区であること
- ・市内業者の施工であること
- ・市税などの滞納がないこと

▶問い合わせ

企画政策課企画政策担当（内線311）



10月11日～20日は「全国地域安全運動」期間です



10月11日(火)～20日(休)の10日間は「全国地域安全運動」期間です。この運動は、防犯協会をはじめとする地域安全に関する機関・団体、そして警察が地域安全運動をさらに強化し、安心して暮らせる美しい地域社会の実現を図ることを目的に昭和52年から毎年開催しているものです。各家庭でも防犯に目を向ける期間にしましょう。市内では自転車の盗難が多発しています。鍵のかけ方や保管の仕方を工夫しましょう。また、振り込み詐欺の予兆と思われる電話が報告されています。防止のため、離れて住む家族に連絡をとりましょう。

加えて、埼玉県防犯協会連合会が主催する埼玉県防犯ポスターコンクールが行われ、5,351点の中から西小学校6年の栗原大和さんの作品が最優秀賞に、埼玉小学校5年の町田貴斗さんの作品が優秀賞に選ばれました。受賞作品のように、防犯活動を行っている方への感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

▶問い合わせ 防災安全課防犯対策担当（内線283）



最優秀賞 西小学校6年 栗原大和さん



優秀賞 埼玉小学校5年 町田貴斗さん

大久保英子氏が教育委員会委員に任命されました

9月定例会市議会で同意を得て、教育委員会委員として大久保英子氏（矢場）が新たに任命されました。教育総務課総務担当 ☎556-8311



大久保 英子 氏

【新作動画】車いす目線の行田案内「坂のないまち」を公開しました

市では、『行田市障がい者ネットワーク「ハッピーぎょうだ」(田島幸夫会長)』の協力を得て、車いすの方の目線で行田を案内する動画「坂のないまち」を制作。このほど公開しました。

この動画の特徴は、行田市が極めて平坦な地形であることから車いす利用者をはじめ、多くの人に安全に観光を楽しんでいただけるのではないかと考え、車いすに乗った2人の案内人（市内の障害サービス事業所の利用者）を車いすに乗せたドローンで撮影したことにあります。このドローンのカメラにはジンバルというブレ防止装置が付いていて、動きながらも安定した映像が撮影できることから、この動画では、車いすで移動しながら解説する映像を随所に取り入れています。また、オープニングとエンディングは、空撮で平坦な行田の地形を表現しています。明るく楽しい動画となっていますので、ぜひ、ご覧ください。

【ぎょうだ動画チャンネル (YouTube)】

https://www.youtube.com/watch?v=2FFcBx_jQxs

▶問い合わせ 広報広聴課（内線318）



スマートフォンで二次元バーコードを読み取り、ご覧ください。